

授業科目	論理国語				2025 年度 国語科シラバス
学年 (コース)	3 学年	総合文系	単位数	2	
授業内容	・漢字学習を通して基本的な知識を習得し、語彙力の向上に努める。 ・評論を読み、文章の構成・要旨をつかみ、筆者の主張を理解する。 ・「論理エンジン 2」を用いて、文と文の論理的関係をとらえ、文章を読解する練習をする。 ・人の話を聞いたり、人に伝わるように自分の考えを話したりする。				
到達目標	・高校生として相応しい漢字の読み書きができることに重点を置き、語彙力を身につける。それを活用して文章を書く力を身につける。 ・論理的な文章の読解力を高め、論理的思考力を養う。 ・自分の思いを相手に伝えたり、他人の意見をしっかりと聞いたりすることが出来る力をつける。				
方法	①知識・技能、②思考力・判断力・表現力、③主体的に学習に取り組む態度の3つの観点から評価する。具体的には、定期考査・課題の提出状況・日常の授業への取り組み・振り返りシートの内容などをもって、総合的に評価する。				
使用教材	教科書 「論理国語」 東京書籍 副教材 「論理エンジン OS 2」 水王舎				

[illegible]

授業科目	論理国語				2025 年度 国語科シラバス
学年 (コース)	3 学年	総合理系	単位数	3	
授業内容	・漢字学習を通して基本的な知識を習得し、語彙力の向上に努める。 ・評論を読み、文章の構成・要旨をつかみ、筆者の主張を理解する。 ・「論理エンジンOS 2」を用いて、文と文の論理的関係をとらえ、文章を読解する練習をする。 ・人の話を聞いたり、人に伝わるように自分の考えを話したりする。				
到達目標	・高校生として相応しい漢字の読み書きができることに重点を置き、語彙力を身につける。それを活用して文章を書く力を身につける。 ・論理的な文章の読解力を高め、論理的思考力を養う。 ・自分の思いを相手に伝えたり、他人の意見をしっかりと聞いたりすることが出来る力をつける。				
方法	①知識・技能、②思考力・判断力・表現力、③主体的に学習に取り組む態度の3つの観点から評価する。具体的には、定期考査・課題の提出状況・日常の授業への取り組み・振り返りシートの内容などをもって、総合的に評価する。				
使用教材	教科書 「新編論理国語」 東京書籍 副教材 「論理エンジン OS 2」 水王舎				

[illegible]

授業科目	文学国語				2025 年度 国語科シラバス
学年（コース）	3 学年	総合	単位数	3	
授業内容	○生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 ○深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者とのかかわりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 ○言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。				
到達目標	○語彙力、読解力、思考力、表現力の向上を図る。 ○ 情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 ○ 文学的な文章やそれに関する文章を読解する力を身につける。 ○文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使うことができる。				
評価方法	① 知識及び技能②思考力・判断力・表現力等③主体的に学習に取り組む態度の3つの観点から評価する。定期考査を中心に、小テスト・課題の提出状況・日常の授業への取り組みやグループ活動への参加態度・振り返りシートの内容などをもって、総合的に評価する。				
使用教材	教科書 「文学国語」（東京書籍） 副教材 プリント冊子				
その他	○勉強方法…ノート冊子・演習プリント・ワークなどを使って、授業内容を復習する。				

●授業進度表(文学国語 3年総合)

[illegible]

授業科目	国語表現				2025 年度 国語科シラバス
学年・コース	3 学年	総合	単位数	3	
授業内容	○基礎知識の習得、表現力の養成 ・漢字や語句の意味用法、慣用的な書き方、表記の決まりを意識し正しく使う。 ・整った文を書くため、係り受け、文末表現を理解する。 ・わかりやすい文を書くため長すぎる文を避け、わかりやすい文にする方法を理解する。 ・自分の思いや考えを表現するために、接続表現の種類や働きを理解する。 ○志望理由書、自己推薦書の作成 ○様々なテーマ、形式による表現練習。面接練習				
到達目標	○基礎知識の習得、表現力の養成。 ・自分の意見を論理的に組み立て、正確に伝える力、相手を説得する力、わかりやすく説明する力、物事をまとめ議論する力を身につける。そのために正しい日本語の知識を習得する。 ○理解力を養う。 ・読んだり聞いたりすることで他者の考えを理解して、自己の考えを深める。 ○自己を見つめる。 ・表現活動を通して、今の自分を振り返り、自分というものを知る。				
評価方法	○1 知識・技能 2 思考力・判断力・表現力 3 主体的に学習に取り組む態度 の3つの観点から評価する。 具体的には、定期考査では1、2を評価。小テスト・課題の提出状況・日常の授業への取り組みやグループ活動への参加態度・振り返りシートの内容では3を評価する。				
使用教材	「国語表現」 (大修館書店) 「国語表現 基礎演習ノート」(大修館書店) 演習プリント				

●授業進度表

[illegible]

授業科目	古典探究				令和7年度 国語科シラバス
学年（コース）	3 学年	総合	単位数	2 単位	
授業内容	◎基礎知識の習得、読解力の養成。 ＜古文＞ ・音読を行い、文章のリズムをつかむ。 ・古文の基礎知識（単語・文法など）を習得する。 ・作品の内容を的確に捉える。 ・古典の表現の面白さや工夫を理解する。 ・登場人物の心情をつかむ。 ・逐語訳を主として行い、基礎読解力を身につける。 ・古文に関する親しみや興味・関心を高める。 ＜漢文＞ ・音読を行い、漢文に慣れる。 ・漢文の基礎知識（句法など）を習得すると同時に古文との違いも認識する。 ・作品の内容を的確に捉える。 ・古典の表現の面白さや工夫を理解する。 ・登場人物の心情をつかむ。 ・句法に忠実な書き下しと口語訳を行い、基礎読解力を身につける。 ・漢文に関する親しみや興味・関心を高める。				
到達目標	・古文漢文の基礎知識の習得。 ・文法や句法に則った口語訳。				
評価方法	①知識・技能（定期考査・小テスト） ②思考力・判断力・表現力(定期考査・レポート・調べ学習等 ③主体性(振り返りシート) 上記の①～③の観点から総合的に評価する。				
使用教材	教科書 『新編古典探究』（東京書籍） 副教材 『やさしくくわしい古典文法』 三訂版（尚文出版） 『新明説漢文』（尚文出版）				
その他	・予習として、教科書の本文を読み、難読・難意語句の読み・意味調べを必ず行いましょう。 ・予習・復習のしやすいノートを工夫して作りましょう。				

授業進度表

[illegible]

授業科目	日本史探究				2025年度
学年・コース	3学年	総合(幼児教育)	単位数	5	地歴公民科シラバス
授業内容	- 教科書を中心に、資料や図表、歴史地図などを適時使用し、関心・意欲を持ち、東アジア地域及び欧米諸国に視点を置き、戦争や産業を中心として歴史的背景を踏まえながら日本の歴史を学習する。 - 第Ⅳ部 近代・現代 - 第12章 近代国家の成立 - 第13章 近代国家の展開 - 第14章 近代の産業と生活 - 第15章 恐慌と第二次世界大戦 - 第16章 占領下の日本 - 第17章 高度成長の時代 - 第18章 激動する世界と日本				
到達目標	- 近代国家の成立、戦争を経て現代へ至る過程を簡単に説明できる。 - 歴史地図を使用し、地名や場所を調べることができる。 - 出てきた重要歴史事象についてクラスや講座内で話し合いができる。				
評価方法	「知識・技能」(40%)、「思考・判断・表現」(30%)については定期テストをもとに評価する。「主体的に取り組む態度」については、提出物、小テスト、プレゼン発表、レポート等をもとに評価をする。(30%)				
使用教材	教科書：『詳説 日本史 日本史探究』(山川出版社) 副教材：『新詳 日本史』(浜島書店)				
その他					

[illegible]

授業科目	日本史探究				2025年度
学年・コース	3 学年	総合	単位数	4	地歴公民科シラバス
授業内容	・教科書を中心に、資料や図表、歴史地図などを適時使用し、関心・意欲を持ち、東アジア地域及び欧米諸国に視点を置き、戦争や産業を中心として歴史的背景を踏まえながら日本の歴史を学習する。 ・第Ⅲ部 近世 - 第10章 幕藩体制の動揺 - 第3節 幕府の衰退と近代への道 - 第4節 化政文化 ・第Ⅳ部 近代・現代 - 第11章 近世から近代へ - 第12章 近代国家の成立 - 第13章 近代国家の展開 - 第14章 近代の産業と生活 - 第15章 恐慌と第二次世界大戦 - 第16章 占領下の日本 - 第17章 高度成長の時代 - 第18章 激動する世界と日本				
到達目標	・歴史の流れをつかみ、時代背景を関連付けて理解できる。 ・資料・図表・地図・グラフ等を正しく読み取ることができる。 ・幕藩体制から近代国家、戦争を経て現代へ至る過程を簡単に説明できる。 ・歴史地図を使用し、地名や場所を調べることができる。 ・出てきた重要歴史事象についてクラスや講座内で討議できる。				
評価方法	「知識・技能」(40%)、「思考・判断・表現」(30%) については定期テストをもとに評価する。「主体的に取り組む態度」については、提出物、小テスト、プレゼン発表、振り返りシート等をもとに評価をする。(30%)				
使用教材	教科書：『詳説 日本史探究』（山川出版社） 副教材：『図説日本史通覧』（帝国書院）				

●授業進度表

[illegible]

授業科目	世界史探究				2025 年度
学年・コース	3 学年	総合	単位数	4	地歴公民科シラバス
授業内容	近世から現代までの諸地域の通史を中心に扱う。 世界史へのまなざし 第Ⅲ部 諸地域の結合・変容 第12章 産業革命と環大西洋革命 第13章 イギリスの優位と欧米国民国家の形成 第14章 アジア諸地域の動揺 第15章 帝国主義とアジアの民族運動 第16章 第一次世界大戦と世界の変容 第17章 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成 第Ⅳ部 地球世界の課題 第18章 冷戦と第三世界の台頭 第19章 冷戦の終結と今日の世界				
到達目標	・教科書や資料集を使って、必要な情報を的確に読み取ることができる。 ・近世から現代にかけての歴史の理解に関して必要な重要語句などの知識を獲得し、諸地域同士のつながりについても理解する。 ・近代国家の成り立ちなどの各地域を学習する中で、各地域の政治や出来事について理解している。 ・教科書や用語集に掲載されている重要語句について説明することができる。 ・与えられた史料から情報を正確に読み取り、論理的な判断ができる。				
評価方法	「知識・技能」(40%)、「思考・判断・表現」(30%)については定期テストをもとに評価する。「主体的に取り組む態度」については、振り返りシート、小テスト等をもとに評価をする。(30%)				
使用教材	教科書：『詳説世界史探究』（山川出版） 副教材：『詳説世界史』（山川出版） 『世界史用語集』（山川出版） 『世界史重要語句 Check List』（啓隆社）				
その他					

[illegible]

授業科目	政治経済				2025年度 地歴公民科シラバス
学年・コース	3学年	総合	単位数	3	
授業内容	【第1編】 ●第1章 現代日本の政治・経済 第3節 市場経済の機能と限界 第4節 持続可能な財政および租税のあり方 第5節 金融を通じた経済活動の活性化 第6節 経済活動と福祉の向上 ●第2章 現代日本の諸課題の探究 【第2編】 ●第1章 現代の国際政治・経済 第3節 相互依存関係が深まる国際経済の特質 第4節 国際経済において求められる日本の役割 ●第2章 国際社会の諸課題の探究				
到達目標	・資本主義と市場経済の仕組みの学習から、政府の働きや経済現象について理解する。 ・国際関係についての学習から、グローバル化の動きを政治と経済の両面から総合的に理解する。				
評価方法	「知識・技能」（40%）, 「思考・判断・表現」（30%）については定期テストをもとに評価する。「主体的に取り組む態度」については、提出物、小テスト、プレゼン発表、レポート等をもとに評価をする。（30%）				
使用教材	教科書 『高等学校 政治・経済』（第一学習社） 副教材 『最新政治・経済資料集 2025』（第一学習社） 『政治・経済ノート』（第一学習社）				

●授業進度表

[illegible]

授業科目	医療系公民				2025 年度
学年・コース	3 学年	総合(看護医療系)	単位数	2	地歴公民科シラバス
授業内容	理科分野 医療現場における IoT について学び、自ら発信するスキルの向上 医療現場におけるコミュニケーションスキルを学ぶ				
	公民分野 【社会保障】 日本と世界の医療の現状と医療統計 社会保障（年金制度・医療保険制度・介護制度）				
	【生命倫理】 生殖医療技術の発展と生命倫理 延命治療と生命倫理				
到達目標	・世界や日本の社会保障制度の歴史や、高齢化が進む現代の問題点から、社会保障制度の意義について学ぶ。また、ノーマライゼーション等、現在の福祉にたいする考え方を事例を通じて身に付ける。 ・生殖医療、臓器移植、終末医療などの事例から、医療従事者としての生命への倫理観と、インフォームド・コンセントやリビングウィルといった自己決定権に基づく医療についての考え方を身に付ける。				
評価方法	「知識・技能」（40%）, 「思考・判断・表現」（30%）については定期テストをもとに評価する。「主体的に取り組む態度」については、提出物, 小テスト, プレゼン発表, レポート等をもとに評価をする。（30%）				
使用教材	教科書 『高等学校 公共』（第一学習社） 『ナースিং・グラフィカ健康と社会・生活』（MC メディカル出版） 『ナースিং・グラフィカ社会福祉と社会保障』（MC メディカル出版）				
その他					

●授業進度表

[illegible]

授業科目	選択数学 I				2025年度 数学科シラバス
学年 コース	3 学年	総合（文）	単位数	2	
授業内容	基礎基本の算数・数学や、数学的な思考を用いて、SPI試験における非言語分野の問題に取り組む。就職試験におけるSPIの対策として、多くの問題に取り組み、実践的な学びを心掛け、就職試験に臨めるようにする。				
到達目標	基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。 就職試験での数的思考の問題を解けるようにする。				
評価方法	定期考査、小テストなどで到達度を問う。課題やノートなどの提出物及び授業態度も考慮し、「知識技能」「思考力判断力表現力」「主体的に学びに向かう力」の3観点から総合的に判断する。				
使用教材	実戦レベルで学ぶSPI対策問題集（実務教育出版）				

●授業進度表

[illegible]

授業科目	数学Ⅱ＋数学B				2025年度 数学科シラバス
学年・コース	3学年	総合コース 理系	単位数	2＋2	
授業内容	数学Ⅱ（2単位）、数学B（2単位）として実施する。 数学Ⅰ・A・Ⅱ・B において基礎～標準レベルの問題演習を行う。 大学入試対策だけでなく、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を身に付ける。 多様な入試問題に触れることにより、解法につながる発想力を養いそれらを活用できるようにする。				
到達目標	基礎学力の定着を図るとともに、積極的に深く考え抜く姿勢を育て、入試問題に対応できる力をつける。				
評価方法	定期試験および授業中の確認テスト・小テスト・課題の提出状況・授業に取り組む姿勢・振り返りシート等で総合的に評価をする。				
使用教材	ベーシックスタイル数学演習Ⅰ・Ⅱ・A・B（数研出版） プリント課題				
その他					

●授業進度表

[illegible]

授業科目	数学Ⅱ＋数学B				2025年度 数学科シラバス
学年・コース	3学年	総合コース 看護医療	単位数	2＋2	
授業内容	数学Ⅱ（2単位）、数学B（2単位）として実施する。 数学Ⅰ・Aにおける基礎～標準レベルの問題演習を行う。 基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を身に付ける。 頻出される入試問題に触れることにより、看護系の大学・専門学校の入試に適応できる実力を養成する。				
到達目標	基礎・標準事項の定着				
評価方法	定期試験および授業中の確認テスト・小テスト・課題の提出状況・授業に取り組む姿勢・振り返りシート等で総合的に評価をする。				
使用教材	新課程リンク数学演習Ⅰ・A受験編（数研出版）				
その他					

●授業進度表

[illegible]

授業科目	数学Ⅲ				2025年度 数学科シラバス
学年 コース	3 学年	総合（理）	単位数	4	
授業内容	第1章 関数 簡単な分数関数と無理関数及びそれらのグラフの特徴について理解する。逆関数や合成関数の意味を理解し、簡単な場合についてそれらを求める。 第2章 極限 数列の極限について理解し、簡単な数列の極限を求める。無限級数の収束・発散について理解し、無限等比級数などの簡単な無限級数の和を求め、それらを事象の考察に活用する。関数値の極限について理解し、それを事象の考察に活用する。 第3章 微分法とその応用 関数の積及び商の導関数について理解し、関数の和・差・積及び商の導関数を求める。合成関数の導関数について理解し、合成関数の導関数を求める。三角関数・指数関数・対数関数など、色々な関数について導関数を求める。 導関数を用いて、いろいろな曲線の接線の方程式を求めたり、色々な関数の値の増減、極大・極小、グラフの凹凸などを調べたり、グラフの概形をいかたりする。 第4章 積分法とその応用 不定積分の基本的な性質について理解を深め、それらを用いて不定積分を求める。置換積分法及び部分積分法について理解し、簡単な場合についてそれらを用いて不定積分を求める。定積分についても同様に、基本的な性質の理解を深めたり、置換積分法及び部分積分法を用いて定積分を求めたりする。 いろいろな曲線で囲まれた図形の面積や立体の体積及び曲線の長さなどを定積分を利用して求める。 適宜、視覚的に理解や考察できるよう GeoGebra といったグラフソフトを積極的に活用する。				
到達目標	各単元について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。				
評価方法	定期考査、小テストなどで到達度を問う。課題やノートなどの提出物及び授業態度も考慮し、「知識技能」「思考力判断力表現力」「主体的に学びに向かう力」の3観点から総合的に判断する。				
使用教材	教科書：「最新 数学Ⅲ」（数研出版） 副教材：「3ROUND 数学Ⅲ」（数研出版），「練習ドリル 数学Ⅲ」（数研出版）				

●授業進度表

[illegible]

授業科目	数学B				2025年度 数学科シラバス
学年 コース	3 学年	総合（理）	単位数	2	
授業内容	数学Ⅰ・A・Ⅱ・B・ベクトルにおいて基礎～標準レベルの問題演習を行う。 基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばすとともに、それらを活用できるようにし、入試に向けての問題演習につなげる。 使用教材がレベル別に Approach, Basic, Challenge と分かれており、時折 Approach の問題で基礎的な知識を補いながら、Basic や Challenge の問題を中心に応用問題への対策を講じる。				
到達目標	基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。				
評価方法	定期考査、小テストなどで到達度を問う。課題やノートなどの提出物及び授業態度も考慮し、「知識技能」「思考力判断力表現力」「主体的に学びに向かう力」の3観点から総合的に判断する。				
使用教材	リンク数学演習Ⅰ・A＋Ⅱ・B・C【ベクトル】				

●授業進度表

[illegible]

授業科目	数学C				2025年度 数学科シラバス
学年 コース	3 学年	総合（理・看）	単位数	2	
授業内容	第1章 ベクトル 平面上のベクトルという概念、加法、逆ベクトル、実数倍、内積、位置ベクトル、ベクトル方程式を学び、図形もベクトルを用いて考察する。平面上のベクトルの性質が空間でも同じように使えるということを学ぶ。 第2章 複素数平面 複素数平面と複素数の極形式、複素数の実数倍・和・差・積及び商の図形的な意味を理解する。また、ド・モアブルの定理について理解する。複素数の演算を事象の考察に活用する。 第3章 式と曲線 放物線、楕円、双曲線が2次式で表されることが及びそれらの2次曲線の基本的な性質について理解する。媒介変数の意味及び曲線が媒介変数を用いて表されることを理解し、それらを事象の考察に活用する。極座標の意味及び曲線が極方程式で表されることを理解し、それらを事象の考察に活用する。 適宜、視覚的に理解や考察できるようグラフソフトを積極的に活用する。				
到達目標	各単元について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。				
評価方法	定期考査、小テストなどで到達度を問う。課題やノートなどの提出物及び授業態度も考慮し、「知識技能」「思考力判断力表現力」「主体的に学びに向かう力」の3観点から総合的に判断する。				
使用教材	教科書：「最新 数学C」（数研出版）副教材：「3ROUND 数学C」（数研出版）				

●授業進度表

[illegible]

授業科目	物理				令和7年度 理科シラバス
履修学年・コース	3 学年	総合コース	単位数	4	
授業内容	本編の力と運動(円運動と万有引力), 熱, 波, 電磁気, 原子について学習する。 1 力と運動 - 等速円運動を加速度運動として捉えることができるようにする。 - 単振動と運動量の概念を知り定量的に捉えることができるようにする。 2 熱と気体 - 気体の法則, 状態方程式の理解を深め, 気体の状態変化との関連付けができるようにする。 - 気体分子運動論の学習を通じて巨視的な世界と微視的な世界を橋渡しする考え方が理解できるようにする。 3 波 - 物理基礎で学んだ波の伝わり方を波の方程式を用いて数学的に捉えることができるようにする。 - 音源や観測者が同一直線上を動いているときに観測されるドップラー効果について理解する。 - 光の反射, 屈折, 分散, 速さ, 干渉, 回折, などについて観察, 実験を活用しながら通学することで, 光の波動性について理解する。 4 電気と磁気 - 静電気の現象について理解を深め、万有引力のところで学んだ「場」の考え方を電界・電位についても扱うことができるようにする。 - コンデンサー回路を重点的に扱う。 - 電流では, 電子運動論からオームの法則を導出できるようにする。 - キルヒホッフの法則を重点的に扱い, 複雑な電流回路についても考察できるようにする。 - 磁気の現象・性質について学習し、静電気学で学んだ電界や電気力線などと類似していることに気付くことで電磁気現象への視野を広げる。 - 右ねじの法則, フレミングの法則など電流と磁場の関係について重点的に扱う。 - ローレンツ力の学習を通じて微視的な世界と巨視的な世界の関連付けができるようにする。 - 電磁誘導の学習からモーターや発電機の原理、交流など日常の電磁気現象がより豊かに捉えられるようにする。 5 原子 - 電子と光については, 光の粒子性, 物質波について重点的に扱う。 - 原子と原子核では, 放射線とその性質について重点的に学習し, 核エネルギーと科学的に向き合い, 日常生活を見つめ直す機会をつくる。				
到達目標	理科の目標 - 日常の様々な事象を科学的観点から見つめる事ができる、豊かな自然観をもった人物を育てる。 - 科学的なリテラシーをもった、自然科学が好きな人物を育てる。 学習の目標 - 物理基礎の内容からさらに広く、深く学びながら日常に生起する各分野の諸現象を眺めることによって視野を広め、物理現象の理解を深めること。				

	・各単元の基礎基本を徹底することで物理学の面白さ，興味深さに気付き，理解に努めること。
評価方法	知識・技能（30）…定期試験、小テスト 思考力・判断力・表現力（35）…定期試験、授業内活動 主体的に学習に取り組む姿勢（35）…授業内活動、振り返りシート等の提出物から総合的に判断して評価する。
使用教材	教科書：改訂版物理（数研出版） 副教材：リードα物理基礎＋物理（数研出版）
その他	

●授業進度表

[illegible]

授業科目	化学				令和7年度 理科シラバス
学年・コース	3学年	総合コース(理系・看護医療)	単位数	4	
授業内容	第3編 化学平衡 化学反応における温度や濃度，触媒の影響などについて探究し，反応速度や化学平衡の概念を理解させる。 第4編 無機物質 無機物質の性質や反応を探究し，元素の性質が周期表に基づいて整理できることを理解させるとともに，それらを日常生活や社会と関連付けて考察できるようにする。 第5編 有機化合物 有機化合物の性質や反応を探究し，有機化合物の分類と特徴を理解するとともに，それらを日常生活や社会と関連付けて考察する。 第6編 高分子化合物 高分子化合物の性質や反応を探究し，合成高分子化合物と天然高分子化合物の特徴を理解するとともに，それらを日常生活や社会と関連付けて考察する。				
到達目標	・日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高め，化学の基本的な概念や原理・法則を理解させ科学的な見方や考え方を養う。 ・観察・実験などの原理を知り，科学的に探究する力を養う。				
評価方法	知識・技能（30点）…定期試験，小テスト 思考力・判断力・表現力（35点）…定期試験，授業内活動 主体的に学習に取り組む姿勢（35点）…授業内活動，振り返りシート等の提出物から総合的に判断して評価する。				
使用教材	化学 Vol.1 理論編 Vol.2 物質編 東京書籍 ニューアチーブ 化学 東京書籍				

[illegible]

授業科目	生物				令和7年度 理科シラバス
学年・コース	3学年	総合・理系	単位数	4	
授業内容	第4編 生物の環境応答 生物が日常環境にて行っている行動や反応のメカニズムについて、視覚的に理解する。 第5編 生態と環境 生物の個体群と群集および生態系についての構造や変化の仕組みを理解し、生態系のバランスや生物多様性の重要性について認識する。 第6編 生物の進化と系統 生物の起源から進化・系統を追うことで、生態を分類して理解する。 演習 生物基礎全範囲の演習問題に取り組み、大学進学・専門進学へ向けた学力をつける。				
到達目標	理科の目標 ・日常の様々な事象を科学的観点から見つめる事ができる、豊かな自然観をもった人物を育てる。 ・科学的なリテラシーをもった、自然科学が好きな人物を育てる。 学習の目標 ・3学年の入試演習に向け、基礎的な知識、問題を解く姿勢が身に付く。 ・将来の進路を想定した上での必要な知識として、本科目に取り組む。 ・国公立大学の二次試験問題を解く力をつける				
評価方法	知識・技能（30）…定期試験、小テスト 思考力・判断力・表現力（35）…定期試験、授業内活動 主体的に学習に取り組む姿勢（35）…授業内活動、振り返りシート等の提出物から総合的に判断して評価する。				
使用教材	教科書 生物 数研出版 副教材 リードLight ノート生物 数研出版 スクエア最新図説生物 第一学習社 チェック&演習 生物 数研出版				

				4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月				
学年・類	科目	単元	項目	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
3年 創造 生物	生物	生命現象と物質	細胞と分子															*	*	*	*	*								
			代謝																*	*	*	*	*							
		生殖と発生	遺伝情報の発現																*	*	*	*	*							
			生殖と発生																*	*	*	*	*							
		生物の環境応答	動物の反応と行動		*	*													*	*	*	*	*							
			植物の環境応答			*	*												*	*	*	*	*							
		生態と環境	生物群集と生態系							*	*	*	*	*					*	*	*	*	*							
生物の進化と系統	生命の起源と進化										*				*	*	*	*	*	*										
	生物の系統															*	*	*	*	*										

授業科目	生物				令和7年度 理科シラバス
学年・コース	3 学年	看護医療	単位数	4	
授業内容	第4編 生物の環境応答 環境の変化に生物が反応していることについて探究し、生物個体が外界の変化を感じ、それに反応する仕組みを理解する。 第5編 生態と環境 生物の個体群と群集および生態系について探究し、それらの構造や変化の仕組みを理解し、生態系のバランスや生物多様性の重要性について認識する。				
到達目標	理科の目標 ・日常の様々な事象を科学的観点から見つめる事ができる、豊かな自然観をもった人物を育てる。 ・科学的なリテラシーをもった、自然科学が好きな人物を育てる。 学習の目標 ・生物や生物現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を身につけるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を養う。 ・大学入学共通テストに止まらず大学の二次試験問題を解く力をつけること。				
評価方法	知識・技能(30点)…定期試験、小テスト 思考力・判断力・表現力(30点)…定期試験、授業内活動 主体的に学習に取り組む姿勢(35点)…授業内活動、振り返りシート等の提出物から総合的に判断して評価する。				
使用教材	教科書 生物 数研出版 副教材 リード Light α生物(数研出版) スクエア最新図説生物(第一学習社) 看護系受験問題集 生物＋生物基礎(数研出版)				

[illegible]

	体育				2025年度 シラバス
履修 類・学年	全コース	3年男女	単位	3	
授業内容	・集団行動 クラスや講座の集団の一員であることを意識して行動させ、体育の授業に取り組む姿勢をつくる。集団の中で秩序ある行動を身につける。 ・体づくり運動 自分の体力・運動能力の現状を確かめる。その結果をよく分析して、不足している能力を高めるためいろいろなスポーツ活動に親しみ、ますます心身を鍛錬して、健康で充実した学校生活が送れるよう努力することを学ばせる。 ・選択: サッカー、ソフトボール、ソフトテニス、バドミントン、パレーボール、 バスケットボール、卓球、ウエイト、エクササイズ 自己の関心、能力等に基づいて運動や課題を選択し、運動の行い方を工夫してゲームをする。集団スポーツの特性を理解する。基本的ルールを理解するとともに基本的技能を身につけ、技術を上達させる。 ・陸上 歩く、走、跳、投の人間の基礎的・基本的運動を身につける。体力や運動能力をそれぞれの種目で十分に生かすためには、合理的な運動の技術を身につける。 ・体育理論 合理的な動きを理解し、練習によって身につけることや、必要な体力をトレーニングによって向上させることで、運動やスポーツを生涯にわたって継続していくための基礎を学習する。				
到達目標	・積極的に楽しく運動に取り組んでいる。 ・声を掛け合い、励まし合い、教え合いながら技術の習得に取り組んでいる。 ・ゲームを進めるためのルールを理解している。 ・スキルテストで標準技能や技術を習得させる。				
評価方法	知識・技能(4割) 思考・判断・表現(3割) 主体的に取り組む態度(3割)				
使用教材	アクティブスポーツ総合版(大修館)				
その他					

●授業進度表

[illegible]

授業科目	幼児教育コース 3年 美術				令和7年度 3年芸術シラバス
履修 類・学年	3 年	総合コース	単位数	1	
授業内容	・オリエンテーション ・名札制作 ・紙粘土制作（文様デザイン） ・人物デッサン（自画像） ・イラスト ・コラージュ （その他の制作、状況に応じて変更あり）				
到達目標	・卒業後、役立つ知識と丁寧な制作態度を身に着ける。 ・保育園児を対象にした造形の基礎となる美術的技術を身につける。 ・保育園児を指導、いっしょに楽しむ造形態度を身につける。 ・いろいろな材料を使って工夫する造形を学ぶ。 ・著作権法を知り著作物の保護について考える。 ・創作活動を通して表現力を身につける。				
評価方法	〔単位修得要件〕 課題に要求される習熟度、授業態度、出席日数、学年末の学科試験を加味し「知識・技能」40%、「主体性」30%、「表現力・判断力・思考力」30%で評価する。				
使用教材	スケッチブック・紙粘土・資料・配布プリント 他				
その他	〔あらかじめ要求される基礎知識の範囲〕 美術の基本的知識、技能。				

[illegible]

授業科目	English CommunicationⅢ				令和7年度 英語科シラバス
学年・コース	3学年	総合コース	単位数	4単位	
授業内容	教科書を中心に多種多様なトピックの英文を読み、自身の既知の情報との関連付けで本文の内容理解を深め、Tips for reading や Comprehension から、さらなる内容理解と文法の定着につなげていく 英語を使って積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する デジタル教科書など ICT を活用しながら授業を展開していく 授業内容を理解しやすくスムーズに進めるためにレッスン毎にプリントを配布し、活用・提出させる。 定期的に単語テスト(タンゴスタ)を実施し、語彙力の定着を目指す 1単位は、ALTとJTEによる授業を実施し、主にリスニング、スピーキング(会話)の指導を行う				
到達目標	グローバル化が進む社会の中で活躍できるという観点から、コミュニケーション能力の育成と国際理解への姿勢を養う 「話す(会話)」「話す(プレゼン)」「書く」「聞く」「読む」という5領域の能力を伸ばす <話すこと> 自分のことや身近なことについて話すことができる 自分の意見を発表したり、他者の発表に対して質問をしたりすることができる <書くこと> 読んだことや聞いたことについての要約文を簡単な英語で書くことができる 自分の意見をまとめた英文で書くことができる <聞くこと> 身近な話題についての英文を聞いて、おおよその内容を理解できる 簡単な指示を聞いて、適切な行動をとることができる。 <読むこと> 幅広い話題について書かれている英文を読み、その概要や要点を理解できる 各段落の要点を押さえながら英文を読むことができる				
評価方法	知識技能・思考判断表現・主体的に学習に取り組む態度の 定期テスト、リーディングテスト、スピーキングテスト、リスニングテスト、授業参加および提出物で総合的に評価する				
使用教材	BIG DIPPER English CommunicationⅢ BIG DIPPER English CommunicationⅢ ワークブック 英単語ターゲット 1400 Real-Life Listening 2 エースクラウン英和辞典				
その他	1単位は ALT と JTE との TT を実施 定期考査にはリスニング問題を出題				

授業科目	英語論理・表現Ⅱ				令和7年度 英語科シラバス
学年・類(コース)	3 学年	総合	単位数	2 単位	
授業内容	Expressions を通してこれまで学習した文法事項を主に復習しながら表現活動に繋がられるよう授業を展開する。 ・ Model Expressions の表現を用いた会話文や短いパッセージを聞いて内容を理解する。 ・ Expressions 学習する表現を音読などして確認をする。 ・ Think and Express!A Expressions を用いて場面にあった英文を書く。 ・ Think and Express!B Expressions の表現を用いた会話文を聞きとり、内容を理解したりディクテーションをする。 ・ Express Yourself! Expressions の表現を使って自分の意見や考えを書いたりペアで会話文を作成する。				
到達目標	英語学習を通じて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成すると共に、さまざまなテーマについて 3 文以上の英語で表現できることを目標とする。さらに、文脈での使用を意識し、それぞれの英語表現の機能に気づき、パラグラフ構成を理解できる力も同時に養うことを目標とする。				
評価方法	・ 定期テスト ・ 提出物 ・ 小テスト ・ 授業への参加・関心・意欲・態度				
使用教材	・ BIG DIPPER English Logic and Expression Ⅱ 教科書 ・ BIG DIPPER English Logic and Expression Ⅱ ワークブック ・ 総合英語 FACTBOOK ・ エースクラウン英和辞典				

[illegible]

授業科目	保育				2025年度 シラバス
履修 類・学年	総合コース	3年幼児教育系	単位	2	
授業内容	① コミュニケーションワーク ＜コミュニケーション能力の育成＞ ＜自己肯定感・自己有用感の育成＞ ・コミュニケーションスキルの獲得 ・人との信頼関係の構築 ② 保育施設でのパートナー制での交流 ・次世代の親としての体験 ・保育者を目指す者としての体験				
到達目標	・積極的に幼児を観察し、コミュニケーションをはかりながら取組んでいる。 ・声を掛け合い、励まし合い、教え合いながら取り組んでいる。 ・「ふりかえりシート」で様々な自分の気づきや、他者の気づきに触れ、次への取り組みにいかそうとしている。				
評価方法	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に取り組む態度				
使用教材	プリント(参考資料:学校グループワーク・トレーニング)				
その他					

●授業進度表

[illegible]